

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯田駅前広場管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
	部等名	建設部	課等名	土木課		1	8	4	3	10	4	0
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	終了	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田駅前広場	飯田駅前広場(面積: m ²)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			6300	6300		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	利用する人が安全で不都合なく利用できる	危険や不都合を感じる利用者の割合	18目標	最終目標	0	
			18実績	19目標	0	↑ 最終目標達成年度
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	維持補修工事 <参考> 細々目名: 飯田駅前広場管理費	歩道補修工事	工事件数	2
	18年度の実績			
	19年度計画	公園維持管理事業へ統合		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	454	
	事業費計(A)	454	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	0
	トータルコストA+B	633	0

特定財源内訳や補足事項	公園維持管理事業へ統合
-------------	-------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	生活・事業に必要な基盤が整う	居住基盤の満足度	現状値	74.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	80
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成5年に駅前広場の再整備が完了し、歩道や広場の舗装等の維持管理を目的に事業を開始した。	車道部のブロック舗装の修繕は多いが、大規模な補修の必要性はない。	不特定多数の市民、また市外からの観光客等飯田に来街する多くの人が集まる場所であり、飯田の玄関口の維持管理と認識されている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	平成19年度までに事業予算を関連事業と統合
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	